

令和7年度 総合的な学習の時間全体計画 江戸川区立小岩第五中学校

| | |
|----------------|----------------------------|
| 学校の教育目標 | ・健やかな人・知性に富む人・心豊かな人・勤労を尊ぶ人 |
|----------------|----------------------------|

| |
|--|
| 国が示す総合的な学習の時間の目標 |
| <p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p> |

| |
|---|
| 学校の総合的な学習の時間の目標 |
| <p>1 自分自身の特性について理解を深めるとともに、それを表現する力を身に付ける。</p> <p>2 環境学習や進路学習、2年生での職場体験に向けた事前学習や当日の職場での体験、事後学習を通じ、自己意識を高め将来の目標を考えさせる。</p> <p>3 自己を取り巻く環境に目を向けさせ、清掃活動等を通して美化や環境について考える態度を育成する。</p> <p>4 校外学習に向けた事前学習、当日の体験、それらをふまえた事後学習を通して、身近な社会について主体的にそして共同的に学習する姿勢を育成する。</p> |

育てようとする資質や能力及び態度

| 学年 | | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 6組 | |
|------------------------------|--------------|--|--|---|---|--|
| 総合的な学習の時間を通して育成を目指す具体的な資質・能力 | 知識及び技能 | 知識の概念化 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域や自治体の歴史について調べたり、自分のキャリアについて上級学校や職業人から話を聞いたりする経験を通して、地域の歴史や特徴と、自分の将来に向けて果たすべき役割を関連付けて理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を通して勤務観、職業観を養い、自己の適性や進路について正しい判断力を身に付ける。 ・日本の伝統文化や歴史、現代における課題等を積極的に学ぶとともに、班活動を軸とした事前・事後学習により自治的活動能力を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路情報収集や上級学校調べ等を通して、将来の目標を明確にし、実現に向けた進路選択・将来設計能力を身に付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ・ザ・ドリーム、職場実習の体験学習を通して目標に向かって取り組む態度と、職業観を養う。 |
| | | 技能の習得活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の方法、目的や相手に応じたふさわしい関わり方などを身に付け、それらを様々な場面状況で活用することができる。 | | | |
| | | 探究的な学習のよさの理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて必要なことを自ら考え、探究を自律的に進めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自発的に教科横断的な学びができる機会を多く設け、自らの考えを深めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等で身に付けた知識及び技能等を総合的に活用・発揮することで、学習が深化していくよさを理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を通して、人々との交流ややり遂げた達成感、喜びを味わうことで、自身の得意や価値を実感することができる。 |
| | 思考力、判断力、表現力等 | 課題の設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意思や目的を明確にしたりして課題を見いだすことができる。 ・解決の方法や手段を考え、見通しをもって計画を立てることができる。 | | | |
| | | 情報の収集 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積することができる。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択することができる。 | | | |
| | | 整理・分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題状況における事実や関係を把握し、分析して多様な情報になる特徴を見つけることができる。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析することができる。 | | | |
| | | まとめ・表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。 ・国語化や外国語化等で身に付けた、技能を活用して表現することができる。 | | | |
| | | 振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。 | | | |
| | 学びに向かう力、人間性 | 主体性協同性 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら共同して課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとする。 | | | |
| | | 自己理解他者理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習を通して自分の特徴やよさを理解するとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 | | | |
| 将来展望社会参画 | | <ul style="list-style-type: none"> ・進んで実社会、実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとする。 | | | | |

学習内容

| 学年 | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 6組 |
|------|--|---|--|--|
| 学習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習(都内巡り) ・職業調べ ・将来の生き方と卒業後の進路 | <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験 ・上級学校調べ・訪問 ・校外学習(鎌倉) | <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行 ・上級学校訪問 ・卒業後の進路と自己の生き方の探究 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路学習 ・職場体験 |
| 学習事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や文化とその発展について ・身近な人の職業を調べる ・卒業後の進路と高校のしくみ | <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を通じた職業への関心、意欲の喚起 ・林間学校を通して農業の問題、その地域の特性を学ぶ ・地域の歴史、文化の学習とその継承 | <ul style="list-style-type: none"> ・金沢、京都を中心とした文化や歴史の探究 ・自己の将来を見つめ、自己にあった進路に向けての活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路、上級学校の仕組み ・体験型のさまざまな学習 |

| 学習活動 | 指導方法 | 指導体制 | 学習の評価 |
|--|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域を生かした活動 ・成果の表現の場の設定 ・生徒の実態を踏まえた学習、探究課題の設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・言語を用いて整理分析表現 ・共同的な学習活動の充実 ・体験活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会で検討し、全校統一して実施 ・学年教員を中心として指導 ・学校図書館、GIGA端末などの環境整備及び充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・個人内評価の充実 |